



みなさんには台風7号での被害はありませんでしたか。

防災・減災に工業の学びを活かそう!

8月15日のテレビでは、台風による鳥取の被害の様子を一日中放送していました。線状降水帯が発生したとされる朝の豪雨は、視界が極端に悪くなり少し先が白くなるほどの激しさでした。大雨特別警報も発表され、携帯電話からは避難を促すアラームが鳴っていました。

記録的な大雨や高温、全国的に頻発している地震など、日常生活に影響を与える自然現象が増えているように思います。南海トラフ地震もそう遠くない未来に発生すると予測され、その被害のシミュレーションも示されています。

これまでは被災時に各地から支援に来てくださる方々がいました。もしも災害エリアが広範囲であったり、災害規模が大きければ、誰もが被災者という状況になり、被災地の外から支援に入ってください方々がいることを期待できないかもしれません。

これからの災害時には、自助・共助が一層必要となります。「自助」とは、一人ひとりが自ら取り組むこと。「共助」とは、地域や身近にいる人同士と一緒に取り組むことです。工業高校ではエネルギーをつくる方法やインフラの整備などに関するノウハウを学びますから、工業高校の卒業生は被災時には

とても頼りになる存在です。ものづくりの力で周りの人の安全・安心に貢献してください。

9月2日(土)には啓成小学校を会場にして、東山中学校区の啓成小学校、車尾小学校、東山中学校、米子工業高校が協力してはるかひまわり10周年記念事業を実施します。このイベントではそれぞれの学校の児童・生徒が防災・減災についての提言を地域の方々へ発信します。

工業高校では防災・減災に有効な知識や技術をたくさん学んでいます。みなさんの日頃の学びをどう活かせるのかを考える機会とし、自分の家族や周囲の方々の安心と安全を支える行動ができるようになってくれることを期待します。みなさんもイベントに参加して、防災・減災について考えてみませんか。

校長 松川 明義



【行事予定】 2日(土)：はるかひまわり 10TH Anniversary

3日(日)：QC検定

6日(水)～8日(金)：2年生研修旅行

週末の大会参加予定 ものづくりコンテスト中国大会旋盤部門(広島県)



米工 HP